

◎ 1 学年

学級担任

1 年 1 組	野村	真理子
1 年 2 組	谷本	修治
1 年 3 組	千葉	克夫
1 年 4 組	柳井	忠
1 年 5 組	西谷	郁夫

○運営目標の実施状況とその成果

1 ショート・ホームルームの実施

- [1] 始業10分前の登校を促し、第1時限から授業に集中できるよう姿勢を整える。
週4日、年間を通じて実施した。ほぼ目標は果たせた。

2 学生の授業出席の改善

- [1] 毎日の出欠、遅刻、早退を調べ、指導し、改善をはかる。そのためには、専門教科の出席連絡を依頼する。
一部科目担当者から出欠の連絡が来ない、あるいは遅れる場合があったが、全体としては科目担当者、教務系の協力を得て、出欠、遅刻を速やかに把握し、学生指導をすることができた。

3 教室の清掃・整備の徹底

- [1] 教室環境を毎日整備し、授業への集中を促進する。
ほぼ達成できた。

4 予習・復習の実行促進

- [1] 学力の修得のため、予習、復習の習慣化を目指す。
特活や授業において、指導を継続して行なった。ただし、個人差が大きく、ほとんど学習習慣の身に付いていない学生も見られる。

5 アドバイザーによる指導の促進

- [1] 勉学意欲を増進させるために、学科との連絡を密にして学生への指導をより密なものにしていく。
問題行動のある学生について、アドバイザーをはじめ学科全体の協力を得て対処したことが数件あった。

6 オフィス・アワーの活用

- [1] オフィス・アワーの活用を通じて、不得意教科の克服や学力の修得を目指す。
学生の指導や、質問についての対応は、放課後の時間の許す限り行なった。

7 留年生を出さないような対策を講じ、進路変更者にはきめ細かい指導をする。

成績不振者やその保護者には、早めに指導、面談を行なった。

8 アルバイトや身だしなみ指導

平日のアルバイトはしないように指導した。強い希望のある場合は、所定の手続きをして

許可したが、手続きをしない者が若干名いるようだ。茶髪、ピアスについても年間通じて指導をしたが、残念ながら数名の違反者がいる。

9 読書や活字に親しむ機会の増進

- [1] 文献や書籍を紐解くほか、図書館の利用を促し、学力の修得と視野の拡大を目指す。
特別活動の時間を使って指導した。しかし、まだまだ満足のものではない。今後の継続した指導が必要である。

10 学級担任会の開催

- [1] 随時開催し、情報交換を通じて、教育のあり方や成績不振者の指導を検討する。
毎月1度、低学年委員会を開催し、情報交換を行なった。

○総括的な評価と課題

この1年間の学生指導について、目標は一応達成できたと思う。しかし、ショートホームルームの遅刻者が後期に増加したこと、身だしなみ、学習に対する姿勢の甘さ、教室の片付けができないことなど、まだまだきめ細かな指導を要する事からは多い。担任間の協力、アドバイザー、学生相談室、各種委員会との連携をさらに促進し、改善してゆきたい。